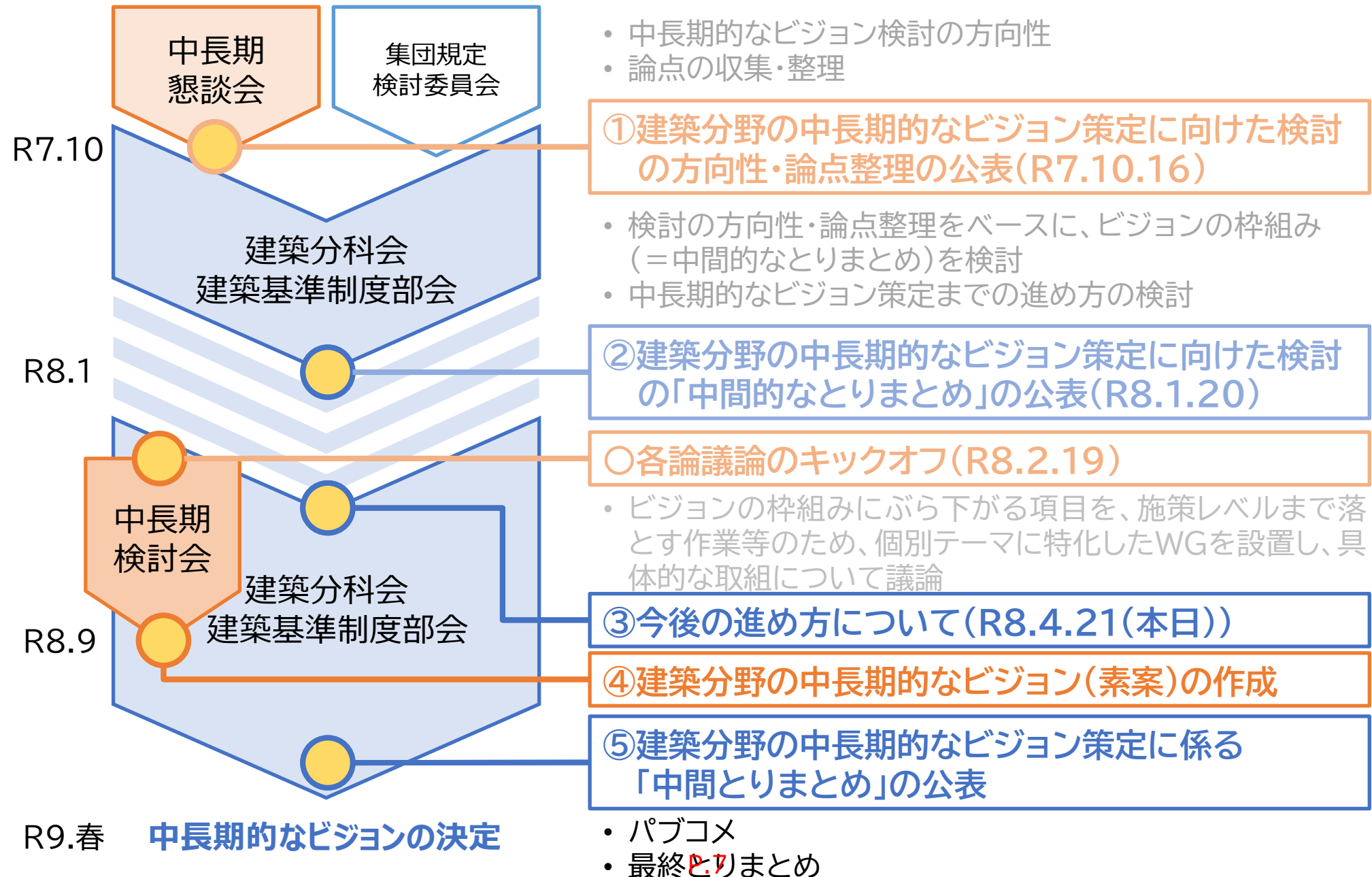


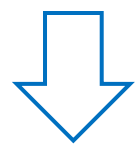
建築分野の中長期的なビジョン(仮称) の検討の進め方について



【参考】建築分科会における今後の検討スケジュール(予定)

令和7年4月 第47回建築分科会・第21回建築基準制度部会・第25回建築環境部会

- ・ 審議会の進め方
- ・ 今後の建築基準制度のあり方及び住宅・建築物の省エネ対策のあり方に関する検討について



・ 建築分野の中長期的なあり方に関する懇談会
・ 集団規定に係る基準検討委員会
・ 建築物のライフサイクルカーボンの算定・評価等を促進する制度に関する検討会

} 等の枠組みを活用しつつ、中長期の課題の洗い出し等を実施

令和7年10月 第48回建築分科会・第22回建築基準制度部会・第27回建築環境部会

- ・ 今後の建築基準制度のあり方及び住宅・建築物の省エネ対策のあり方に係る検討状況について
- ・ 検討の方向性(素案)



※中長期的なビジョンについては建築基準制度部会において議論（2回）

令和8年1月 第49回建築分科会

- ・ 建築分野の中長期的なビジョンの策定に向けて(検討の方向性に係る中間的なとりまとめ)
- ・ 今後の住宅・建築物の省エネ対策のあり方について(第4次報告)



※関係学術・業界団体等と個別に意見交換を行いつつ、引き続き具体的な課題について議論

令和8年4月 第50回建築分科会・第25回建築基準制度部会

- ・ 建築分野の中長期的なビジョン検討の今後の進め方について



・ 「建築分野の中長期的なあり方に関する検討会」等の枠組みを活用し、ビジョンの各論を中心に検討した上で、建築分野の中長期的なビジョンに係る中間とりまとめ(素案)を作成
・ ビジョン検討の過程で、産学官の関係者を巻き込む取組の実施を検討

令和8年秋頃 建築分科会・建築基準制度部会(数回) 中長期的なビジョンの中間とりまとめを予定



※パブリックコメントの実施を想定

令和9年春頃 建築分科会・建築基準制度部会 中長期的なビジョンのとりまとめを予定

建築分野の中長期的なあり方に関する検討会

設置概要

- 目的：建築分野における中長期的なあり方を議論する上で必要な論点整理・ニーズ把握を総合的に行うとともに、ビジョン策定に資する各論に係る具体的な検討を行う。
- 設置者：国土交通省住宅局
- 事務局：国土交通省住宅局・国土技術政策総合研究所（国総研）建築研究部等

実施方針

- 検討会にテーマに応じた作業WG※を設置し、各テーマに係る具体的な論点・留意点・検討の方向性等を整理

※設置を検討しているWG
 ●ストック ●担い手 ●質／技術
 ●DX ●市街地
- 検討会において、各WGの進捗を把握するとともに、共通・関連する論点等については相互に調整
- R7に引き続き、建築分野の中長期のあり方に関する意見箱を設置（HP開設）、提出された意見を整理し、各回提示

スケジュール

- 令和8年2月～9月に全4回程度開催
- 令和8年9～10月とりまとめ

委員等

※敬称略 ※赤字：懇談会からの追加メンバー

座長	松村 秀一	神戸芸術工科大学 学長	
委員	赤松 佳珠子	法政大学 教授／シーラカンズアンドアソシエイツ パートナー	
	安達 功	日経BP総合研究所 フェロー	
	有田 智一	筑波大学 教授	【WG主査】
	池田 靖史	東京大学大学院 特任教授	【WG主査】
	五十田 博	京都大学生存圏研究所 教授	【WG主査】
	大島 芳彦	ブルースタジオ 専務取締役	
	奥野 功貴	広島県土木建築局建築課 課長	
	腰原 幹雄	東京大学生産技術研究所 教授	【WG主査】
	清家 剛	東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授	【WG主査】
	関谷 哲也	(公財) ギャラリー エー クワッド 理事長	
	田辺 新一	早稲田大学 教授	
座長代理	中埜 良昭	東京大学生産技術研究所 教授	
	中山 靖史	(独) 都市再生機構 理事	
オブ	長谷川 洋	(国研) 建築研究所 理事	
	JBN・全国工務店協会	日本建設業連合会	日本建築士事務所協会連合会
	全国建設労働組合総連合	日本建築家協会	不動産協会
	住宅生産団体連合会	日本建築士会連合会	日本ビルヂング協会連合会

検討会の役割

- 本懇談会では、建築分科会における「建築分野の中長期的なビジョン（仮称）の策定に向けて～中間的なとりまとめ～」を踏まえ、2050年（建築基準法制定100年）を見据えつつ、建築分野の多種多様な課題に対し、解決策を整理するなどビジョンの策定に資する各論に係る具体的な検討を行う。

<検討内容>

R7.5-9

（中長期的懇談会 検討内容）

- ① 中長期的なビジョンの目的
- ② 建築分野において目指す社会像
- ③ 目指す社会像の実現に向けた取組事項（ビジョンの枠組み）
- ④ 中長期的なビジョンに係る論点・留意点・方向性の整理

-R8.1

（建築分科会）

建築分野の中長期的な
ビジョン(仮称)策定に
向けた総論に係る議論
↓↓↓
検討の方向性について
中間的なとりまとめ

R8.2-

（本検討会）

- 各論に係る課題整理
- 早急に取り組むべき課題と対応策
- 中長期的に取り組むべき課題と検討の方向性
- 建築分科会の議論につなげる「中長期的なビジョンの素案」とりまとめ

<検討のステップ> ※議論の進捗を踏まえて変更がありうる

第1回・キックオフ

- 今後の進め方の検討
- 各作業WGの設置（案）について検討

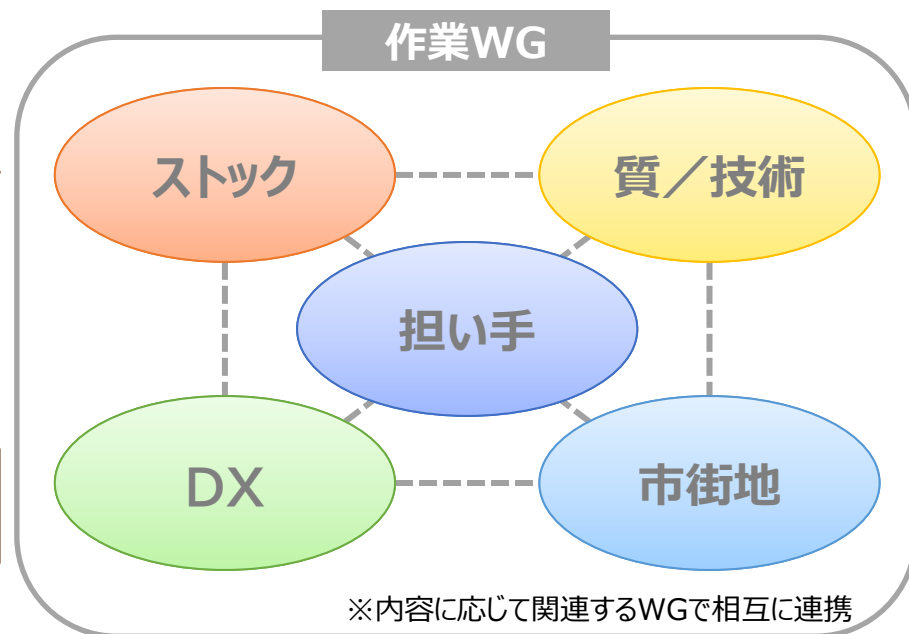
第2回～第3回

- 各作業WGでの検討状況の共有
- 各論に係る課題整理・調整・議論

第4回・とりまとめ

- 議論のとりまとめ
（建築分野の中長期的なビジョンに係る中間とりまとめ（素案）作成）

 WGを
中心に
議論

 議論
結果を
報告


建築分野の中長期的なあり方に関する意見箱

趣旨

- 令和7年4月より、社会資本整備審議会建築分科会において、建築分野における中長期的なあり方についての議論を開始
- 多様化・複雑化した社会的要請に対応した建築分野の中長期的なあり方を検討するため、建築物の設計者・施工者・管理者・所有者等の幅広い関係者からの意見を募集し、議論に反映

実施方針

- 建築分野の中長期のあり方に関する意見箱を設置（HP開設）、意見募集

<意見箱に関するページ>

https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/build/jutakukentiku_house_tk_000203.html

<意見提出方法>

WEB回答フォーム（右記QRコード）
又は
指定様式に記入の上、メール送付
（送付先）
kenchiku-ikenbako@artep.co.jp



- 提出された意見を整理し、中長期検討会又は建築分科会・建築基準制度部会等において、随時資料として配付
※ご意見への個別の回答は作成しない

意見提出項目

- 以下項目を収集し、4~6を資料化（個人情報伏せて公表）

	項目	備考
1	氏名／企業・団体名	非公表
2	年齢	選択式（-10/20/30/40/50/60/70/80-）
3	連絡先	所在地（都道府県）・メールアドレス
4	立場	選択式（設計者／施工者／管理者／所有者／利用者／開発事業者／不動産仲介事業者／コンサルタント／金融／行政職員／指定確認検査機関等の職員／その他）
5	ご意見分類	選択式（検討テーマの種類）
6	具体的な意見・提案	200字以内で簡潔に
7	背景・理由	ご意見・提案の背景を記載（文字数限定なし）

募集期間

- 令和7年5月30日～令和7年12月19日まで
- 令和8年4月21日～令和8年8月31日まで